



Smile通信 ~みんなが主役~

院内広報誌 ネーミング決定!!

◆Q1. このネーミングの由来は?

第二協立病院で働いている一人一人が活躍できる事を思いながら、決めました。

◆Q2. 選ばれた時の感想は?

私が応募したネーミングに決まると思ってもいなかったのが驚きました。応募して良かったです。

◆Q3. 最後に一言

これからも患者様の笑顔を引き出せるように頑張ります。

リハビリテーション科 安慶名 結



緩和ケア研修会について

平成29年10月21日(土)、当院2階会議室に於いて研修会を開催しました。院外7名を含め合計45名の参加者がありました。始めに福田院長より挨拶と「がん悪液質について」の講義を頂き、続いてPT科松岡昌美さんより緩和ケア病棟でのリハビリテーションの講演がありました。当初、緩和ケア病棟でのリハビリについて、コストにも反映しておらず理解が乏しいのが現状でした。「あるがままの患者様を支え、終末期においても最期の時まで患者様の自分らしさを大切に支えていく」との目標のもと、実施しているリハビリの症例紹介がありました。又看護師とセラピストとの連携に関するアンケートやリンパマッサージに使用するぶどうの精(アロマ軟膏)についても、興味深い報告がありました。

最後に松岡さんより「緩和ケアのリハビリとは、その人らしさを支える、残された時間や落ちていく能力の中で出来る事を見つける、特別に何かをするわけではなく、患者様の日常に寄り添う、患者様だけでなく患者様を囲むご家族やご友人との時間も尊重していくことだと思っています。」との説明に感銘を受けました。この研修会に参加し、医師、看護師だけでなくセラピストを始め、多職種がチームで患者様の為に、極め細やかな対応をしている事が良く分かりました。

医事課 黒谷 清司



【編集後記】

お蔭様で、節目の第10号を発行する事が出来ました。広報誌のネーミングも新たに決定し、今後ますます頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

地域連携推進委員会 高橋 亮太

風邪の予防 ~免疫力向上~

朝晩が冷え込み、風邪を引きやすい季節になりました。気を付けていても、季節の変わり目や急な気温の変化に身体が対応できず、風邪を引いてしまうことがあります。実は風邪を引いてしまうのには、免疫力が大きく関係しています。免疫力を高めることで外部からのウィルスや病原菌の侵入を防ぐことができます。

免疫力を高める代表的な栄養素と言えば「ビタミン」です。

ビタミンAには病原菌やウィルスの侵入路である喉や鼻腔の粘膜を強化する働きがあります。ほうれん草や小松菜、人参などの緑黄色野菜に豊富に含まれます。

ビタミンBは体内に侵入した病原菌・ウィルスを攻撃する抗体グロブリンの生成に関わっています。鶏肉や豚肉、レバー、マグロ、大豆などに多く含まれます。

ビタミンCは白血球を活性化させ、その白血球が病原に感染した細胞を食べてくれます。ビタミンCはみかんやキウイ、じゃがいもなどの果物や野菜に多く含まれます。

普段から免疫力を高める食べ物を積極的に摂り、バランスの良い食事を心がけ、風邪に負けない身体を作りましょう!!

栄養科 堀口 みさき



ワクチン接種について

ワクチンで防ぐことのできる病気があります。ワクチンをあらかじめ接種しておくことで、実際にウィルスが侵入してきたときに発症せずにすんだり、軽くすんだりします。またみんなが同じようにワクチンを接種することで、病気の流行をおさえることができます。ワクチンは非常に有効な予防医学と言えます。

第二協立病院小児科では火水木の午後に予防接種を行っております。ワクチンの種類も沢山あり、何をどの順番で、どんな間隔でうけるべきか悩まれる方もいらっしゃると思います。そんな時は当院受診の際にお気軽に御相談ください。スケジュールの立て方なども説明させていただきますので、よろしくお願いたします。

小児科 岡本 恭明

<小児科診療時間>

	月	火	水	木	金	土	診療時間
午前	2診制	2診制	2診制	2診制	2診制	-	受付時間 8:30~11:30 診療時間 9:00~
午後	-	★予防接種 (予約制)	★予防接種 (予約制)	★予防接種 (予約制)	-	-	受付時間 12:15~15:30 診療時間 13:00~

～新透析センター長よりご挨拶～

皆様、こんにちは

当院透析センターは、透析ベッド数56床で、52台の透析装置(HD)と4台の透析濾過装置(HDF)を置き、約130名の患者様(外来透析約90名、入院透析約40名)に血液浄化療法を受けて頂いています。

3名の透析医が主治医となり、透析患者様の健康管理のパートナーとして診療させて頂いております。合併症を含む病状の変化やシャントトラブルにもスタッフとともに迅速に対応しております。また、体調不良時やリハビリ必要時には病態に応じて可能な限り入院療養をして頂けるよう配慮しております。

また、当院はリハビリと緩和ケアに力を入れており、地域の医療機関から透析患者様のリハビリや緩和ケアの入院も積極的に受け入れております。入院設備を持った透析センターとして、地域の皆様のお役にたてるようスタッフ一同精進していきたく思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



透析センター長 東 敬子



腰痛や膝痛を予防しましょう！ ❄️❄️❄️❄️❄️❄️

腰痛、膝痛は多くの方が経験した事があると思います。私自身、入職当初は腰痛に悩まされていましたが、キネステティックという人の動きに関する学問と出会って以来、腰痛に悩まされることは無くなりました。今回からシリーズとして、キネステティックの概念に基づいた腰痛・膝痛予防におけるコツをお伝えしたいと思います。

腰痛・膝痛が出現した際に、「腹筋や足腰が弱ってきたから!」、「筋力トレーニングをしなければ!」といった声がよく聞かれます。多くの人は、その原因を筋肉(力)だけに注目しがちです。しかし、『骨をより上手に使う』という事も実は大変重要なのです。骨を上手く使えていないと、筋肉で重さを支えたり、持ち上げたりしなければなりません。例えるなら、「肩車」と「お姫様抱っこ」の違いです。肩車は主に骨で重さを支えており、お姫様抱っこは主に筋肉で重さを支えます。どちらが楽かはすぐにお分かり頂けると思います。重さを支えるために骨を使い、筋肉をより楽に(過度な緊張をさせずに)使うということが腰痛や膝痛予防にとって大事なのです。

では、日常生活でどのようなことに注意し、どのように身体を動かせばよいのか。今回は『骨と筋肉』という概念を用いてお伝えしましたが、次回はさらに別の概念も取り入れて腰痛や膝痛を生じさせにくい具体的な動作方法についてご紹介したいと思います。

リハビリテーション科 小原 健太郎



患者サービス向上委員会では、患者さんやご家族の皆さんから、広くご意見やご要望をいただき、病院運営改善に努めていくために、各階に「ご意見箱」を設置しています。お気づきの点がございましたら、遠慮なく「ご意見用紙」にご記入いただき、ご投函ください。ここでは、皆さんからいただいたご意見について、本院にて掲示・ご回答差し上げたものを、ご紹介させていただきます。個人的にご回答差し上げたものや、プライバシーの侵害、公序良俗に反するものと判断されるものにつきましては、掲示を控えさせていただきますので、ご了承願います。



患者サービス向上委員会 山本 康弘

ご意見 できることなら、ベッドサイドに一個折りたたみ椅子があればありがたい

【回答】 転倒防止の為にベッドサイドには常時置けませんので、詰所にて貸し出しできるようにしています。必要時にスタッフに御声掛け下さい。



秋祭り

9月21日(木)に当病院の一大行事である「秋祭り」を開催しました。今年は晴天にも恵まれ、屋外にて多くの患者様や家族様にお越し頂き行うことが出来ました。患者様には日常を忘れお祭りの雰囲気を楽しんで頂くために金魚すくい、ヨーヨーつり、輪投げなど様々な屋台をご用意させて頂きました。また、職員は法被や浴衣に着替え一緒にお祭りを盛り上げるように工夫しました。

その他にも、院内保育所「わんぱくスクエア」の園児による歌や新入職員による盆踊りも披露し、患者様は歌に合わせて手拍子や、一緒に踊っておられる方もおられ楽しく過ごされておられました。患者様にはお祭りの雰囲気を少しでも感じてもらい、笑顔がたくさん見られた1日だったと思います。今後もより多くの方に参加してもらえるように工夫し、秋祭りをよりよいものにしていきたいと思っています。

患者サービス向上委員会



第11回 ふれあいフェスタ

第11回 ふれあいフェスタを開催しました。

第二協立病院産婦人科をもっと身近に感じてもらいたい、と始めたふれあいフェスタも第11回を迎えました。妊婦さんや産後のママ・ベビー、小さい子ども達も楽しめるような様々なイベントを行っています。

今回は近隣の方々や当院で出産されたご家族など、約100名の方にご参加いただきました。「久しぶりにお世話になった先生や助産師さんに会うことが出来て良かった。」「ちょっとした外出ができたし、楽しく参加できました。」など、嬉しいお言葉も頂いています。これからも皆さんに楽しんでいただけるよう、そして第二協立病院産婦人科をもっと知って頂けるように活動していきたいと思っています。

産科婦人科病棟

